

2026年度 特別展 開催予定一覧

第1期特別展

トーベン・クールマン絵本原画展

4月11日(土)～6月7日(日)

2012年、ドイツの一人の若い学生が生み出した小さなネズミの冒険物語は、海を越え、時空も超えて、世界各国で多くのひとびとを魅了してきました。

本展では、リンドバーグやアインシュタインなど偉人たちの史実とファンタジーが交錯する人気の「ネズミの冒険」シリーズから、デビュー作『リンドバーグ 空飛ぶネズミの大冒険』から『アメリカ 空飛ぶ野ネズミの世界一周』までの原画など約200点を一挙公開します。



トーベン・クールマン「ネズミの冒険10周年モチーフ」
2025年

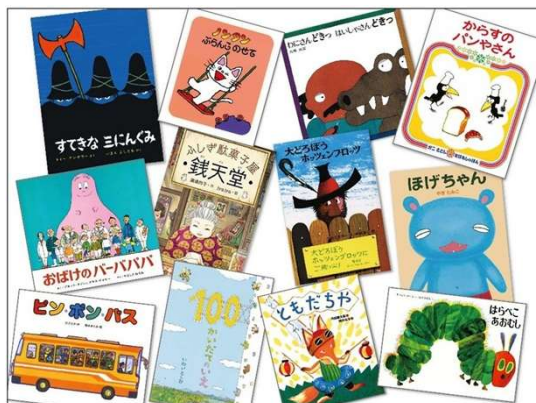
第2期特別展

ずっとつながる えほんの世界—偕成社 子どもの本展—

6月20日(土)～8月30日(日)

1936年に創業し、児童書を専門に出版してきた偕成社は、2026年に90周年をむかえます。これを記念して、その作品を一堂に展示します。

50周年をむかえる人気の絵本「ノンタン」シリーズ、エリック・カールの世界的ベストセラー『はらぺこあおむし』のほか、かこさとしの『からすのパンやさん』、「100かいたてのいえ」シリーズなど、世代を超えて読みつがれる子どもの本の世界を、原画や作品資料のほか、造作やフォトスポットで楽しめる展示を開催いたします。



第3期特別展

水木しげる 魂の漫画展

9月12日(土)～11月29日(日)

『ゲゲゲの鬼太郎』などで知られる日本漫画界の鬼才 水木しげるは、鳥取県境港で過ごした少年時代に見た正福寺所蔵の「地獄極楽絵図」に心を奪われて以来、目に見えない世界を信じるようになり、生涯にわたって不思議な世界を表現し続けました。

本展は、太平洋戦争の激戦地ラバウルで生死の境をさまよい片腕を失い、極貧時代を乗り越え、独自の漫画表現に到達した水木の画業を、漫画原稿や原画、愛用の道具、多彩な映像資料で紹介する回顧展です。



『ゲゲゲの鬼太郎』1985年©水木プロダクション